

令和元年度 事業報告書

第一章 事業の報告

第二章 財務の概要

学校法人 平成学園

第一章 令和元年度事業報告

1. 事業概要について

教育事業では前年に引き続き入学前学習を行い、入学年度の学習意欲の向上に努めた。また、看護師国家試験では卒業生 62 名中 60 名が合格した。事務事業ではより積極的に高校訪問やオープンキャンパスを実施した結果、入学試験の結果 76 名の入学生を確保することができた。

2. 教育事業

(1) 教育体制の強化

- ・ 入学前学習を全入学予定者への実施
- ・ 入学予定者への入学前オリエンテーションの実施、保護者同伴面接の強化
- ・ 1 年生への学習支援の強化を図った。
- ・ 国家試験対策として模擬テストや実力テストを全学年対象に実施
- ・ 3 年生には様々な専門業者による国家試験勉強のガイダンスを実施し、試験対策の強化を図った。
- ・ 卒業生の国家試験未合格者に対して面接を実施し、さらに学内にて国家試験模擬テストと個別指導を実施した。
- ・ 第 109 回看護師国家試験は令和元年度卒業生 62 名中 60 名合格(合格率 96.8%)既卒者においては 17 名中 4 名合格(合格率 23.5%)

(2) 看護教育の向上

- ・ 群馬県主催の看護教員研修に参加
- ・ 看護教育を充実させるため、看護教員養成課程へ 1 名受講させた。

(3) 教育用備品購入

- ・ 実習用ベッド、フィジカルモデル人形等の購入
- ・ 医師会立太田看護専門学校からの備品受け入れ

3. 事務事業

(1) 学生募集対策

- ・ 高校訪問及びガイダンスを積極的に実施し、学生確保に努めた。
- ・ 体験入学、学校説明会を開催(計 8 回、延参加人数 280 名)
学校説明会にて関連病院にご協力いただき推薦と奨学金の説明

(2) 入学試験について

- ・ 本校の特徴的な奨学金制度を広く広報できる病院推薦入試を実施
- ・ 入学試験受験者は 105 名(推薦 62 名、社会人 6 名、一般 37 名)
- ・ 令和 2 年度入学者は 76 名(29 回生)

(3) 修学支援新制度の申請

高等教育の修学支援新制度（学費減免+給付奨学金）の対象校の認可を受け、学生への経済的な支援の強化を図った。

(4) 進路関係

卒業生のうち就職希望者全員が医療機関へ就職

4. 施設設備

(1) 学籍管理システムを、バージョンアップし、教育環境の改善を図った

(2) 未舗装の駐車場の舗装を行い、車走行の安全性の確保に努めた。

5. 補助金関係

(1) 群馬県私立学校教育振興費補助金（専修・各種学校分） 6,407,000 円

(2) 群馬県看護師養成所演習設備整備事業 637,000 円

(3) 看護師養成所運営費補助事業（太田市） 5,684,400 円

6. 質的向上

・ 学校関係者評価委員会の実施

第二章 財務の概要

1. 令和元年度決算の概要

資金収支決算における次年度繰越支払資金は前年 1.2%増の 749,553,566 円となった。単年度収支を示す事業活動収支決算については経常収支差額が 3,292,295 円の支出超過となり、基本金組入前当年度収支差額は 2,655,310 円の支出超過となった。基本金組入後の当年度収支差額は 17,108,843 円の支出超過となり基本金取崩後の翌年度繰越収支差額は 111,244,192 円の収入超過となった。

また、令和元年度末の貸借対照表では資産から負債を差引いた正味財産は 1,241,560,965 円となった。

2. 資金収支決算

令和元年度における資金収入は予算に対し、4,880,764 円増の 295,971,764 円となった。資金支出は人件費等の増加があり予算に対して 2,273,818 円増の 287,073,818 円となった。令和元年度における資金増加額は 8,897,946 円となり、次年度繰越支払資金は 749,553,566 円となった。

[資金収支計算書]

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
前年度繰越支払資金	740,000,000	740,655,620	△ 655,620
資金収入	291,091,000	295,971,764	△ 4,880,764
資金支出	284,800,000	287,073,818	△ 2,273,818
次年度繰越支払資金	746,291,000	749,553,566	△ 3,262,566

※差異は予算-決算で示している。(予算より増加していると△)

令和元年度資金増加額(資金収入-資金支出) = 8,897,946円

3. 事業活動収支決算

教育活動における収支状況を示す教育活動収支差額が 3,293,442 円の支出超過となり、教育活動外収支を差し引いた経常収支差額が 3,292,295 円の支出超過となった。また、特別収支差額は 636,985 円の収入超過で基本金組入前当年度収支差額は 2,655,310 円の支出超過となった。基本金組入後の当年度収支差額は 14,453,533 円の支出超過となり、備品除却に伴う基本金取崩額を加えた翌年度繰越収支差額は 111,244,192 円の収入超過となった。

[事業活動収支計算書]

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
教育活動収入	236,880,000	234,545,252	2,334,748
教育活動支出	232,710,000	237,838,694	△ 5,128,694
教育活動収支差額	(4,170,000)	(△ 3,293,442)	(7,463,442)
教育活動外収入	1,000	1,147	△ 147
教育活動外支出	0	0	0
教育活動外収支差額	(1,000)	(1,147)	(△ 147)
経常収支差額	(4,171,000)	(△ 3,292,295)	(7,463,295)
特別収入	700,000	637,000	63,000
特別支出	0	15	△ 15
特別収支差額	(700,000)	(636,985)	(63,015)
基本金組入前当年度収支差額	4,871,000	△ 2,655,310	7,526,310
基本金組入額合計	△ 14,300,000	△ 14,453,533	153,533
当年度収支差額	△ 9,429,000	△ 17,108,843	7,679,843
前年度繰越収支差額	113,200,000	121,363,397	△ 8,163,397
基本金取崩額	0	6,989,638	△ 6,989,638
翌年度繰越収支差額	103,771,000	111,244,192	△ 7,473,192

※差異は予算-決算で示している。(予算より増加していると△)

4. 貸借対照表

令和元年度末における資産は 1,273,116,069 円、負債は 31,555,104 円、資産から負債を差し引いた純資産は 1,241,560,965 円となった。

(単位:円)

科 目	元年度末	30年度末	増 減		
資 産	固定資産	504,477,156	513,250,438	△ 8,773,282	
	流動資産	768,638,913	762,461,792	6,177,121	
	計	1,273,116,069	1,275,712,230	△ 2,596,161	
負 債 及 び 純 資 産	負 債	固定負債	5,267,774	4,474,796	792,978
		流動負債	26,287,330	27,021,159	△ 733,829
		計	31,555,104	31,495,955	59,149
	純 資 産	基本金	1,130,316,773	1,122,852,878	7,463,895
		繰越収支差額	111,244,192	121,363,397	△ 10,119,205
計	1,241,560,965	1,244,216,275	△ 2,655,310		
計	1,273,116,069	1,275,712,230	△ 2,596,161		

5. 財務分析

(1) 事業活動収支計算書関係比率（単位％）

(単位：％)

分類	比率名	評価	算出方法	H27	H28	H29	h30	R1	全国平均
収入関係	学納金比率	～	学生生徒等納金/経常収入	91.3	92.8	92.5	93.2	92.4	80.9
支出関係	人件費率	↓	人件費/経常収入	62.1	66.1	64.9	68.4	66.9	43.2
	教育研経費比率	↑	教育研究費/経常収入	18.4	17.8	23.6	23.9	23.0	47.9
収支状況	事業活動収支差額比率	↑	基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入	10.8	12.1	0.0	△ 0.8	△ 1.20	23.1
	基本金組入後収支比率	～	事業活動支出/(事業活動収入-基本金組入額)	97.4	106.0	105.8	109.6	113.6	120.6

(注)1.評価欄の矢印は、「↑高いほうが良い」、「↓低いほうが良い」、「～どちらとも言えない」を示す。

(2) 貸借対照表関係比率（単位％）

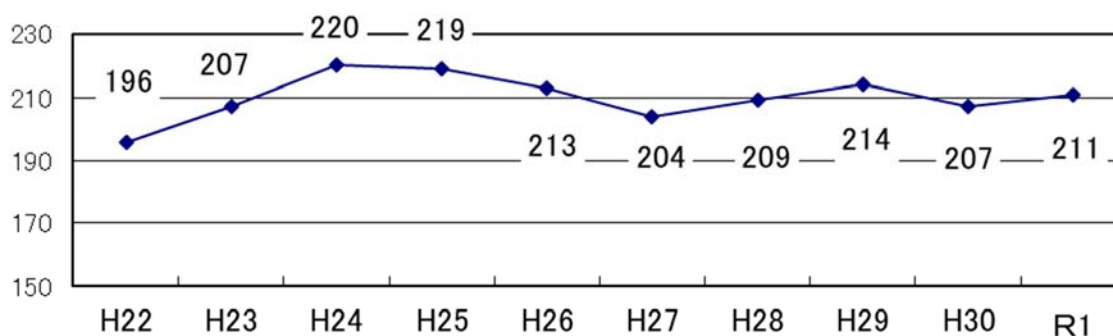
(単位：％)

分類	比率名	評価	算出方法	H27	H28	H29	H30	R1	全国平均
資産構成	固定比率	↓	固定資産/純資産	42.5	42.2	40.9	41.3	40.6	94.6
	固定資産構成比率	↓	固定資産/総資産	41.3	42.0	40.2	40.2	39.6	77.5
	流動資産構成比率	↑	流動資産/総資産	58.7	58.0	59.8	59.8	60.4	22.5
負債割合	負債比率	↓	総負債/純資産	1.7	2.7	1.8	2.5	2.5	22
繰越収支差額の変動	繰越収支差額構成比率	↑	繰越収支超過額/(総負債+純資産)	10.0	10.9	10.0	9.5	8.7	9.8
自己資金の充実関係	純資産構成比率	↑	純資産/(総負債+純資産)	98.3	97.4	98.2	97.5	97.5	82

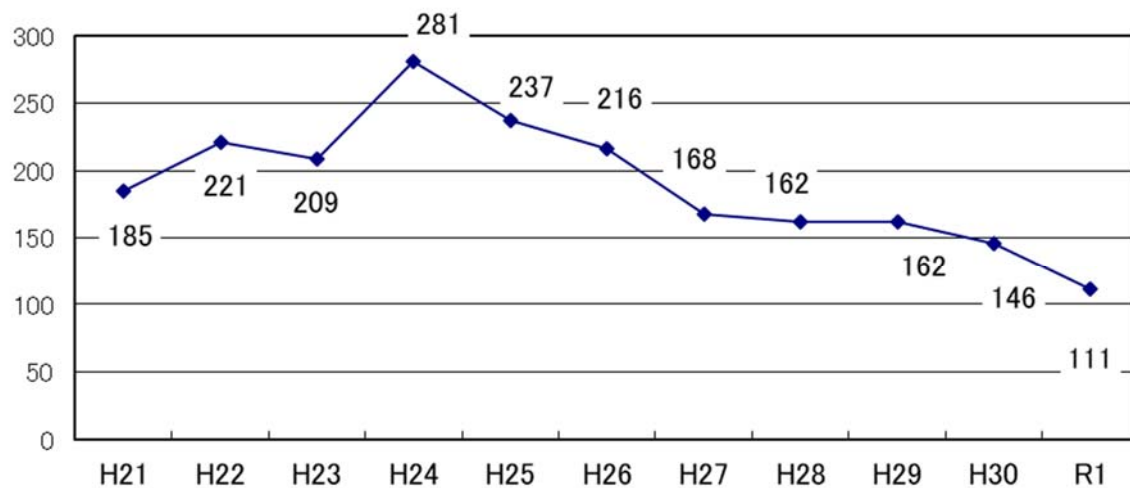
(注).評価欄の矢印は、「↑高いほうが良い」、「↓低いほうが良い」、「～どちらとも言えない」を示す。

6. 学生数・志願者推移表

(1) 学生数の推移（基準日は5月1日）



(2) 志願者数の推移



7. 教職員数推移表（基準日は5月1日）

